

明日をひらくとし
都市



YOKOHAMA 5

こうほう
広報よこはま

2025



市長だより

横浜では、過去に急な人口増加や高度経済成長のなかで、生活環境や住む家に関する都市の課題が出てきました。そうした時代の変化の中で、自治会・町内会は、その時々の地域課題に向き合い、地域の求めに応じた活動をおこなってきました。

いま、およそ2,800の自治会・町内会が市全体で活動していて、120万世帯を超える市民のみなさんが加入しています。自治会・町内会は、暮らしやすいまちづくりに欠かすことのできない存在です。

自治会・町内会は、市民のみなさんと行政をむすぶ存在として、行政と協力しながら、いろいろな役割や活動を担当しています。たとえば、地域課題について市民のみなさんの声を横浜市につたえる役割や、横浜市からの情報や制度などを市民のみなさんにしらせる役割、そして防犯・防災、まちをきれいにする活動などです。さらに、地域のつながりをささえられる存在として、子ど

もやおとしよりの見守り活動、地域のお祭りや交流イベントを行なうなど、いろいろな活動を通じて、「地域の絆」を育てています。

「自分たちの住む地域を、自分たちの手でより良くしていく」という想いは、時代を超えて受け継がれてきた横浜の市民力であり、この市民力による、地域に根ざした活動のつみかさねが、横浜のまちづくりの基本であると考えています。

横浜市は、この自治会・町内会の活動をすすめるため、活動費を増やしたり、新しい支援のやり方も次々に取り入れています。大きな地震などの災害が起った時に、市民のみなさんが防災力をいかすとりくみも、さらにすすめています。これからも、市民のみなさんの安全・安心に寄りそったまちづくりを、自治会・町内会と力を合わせてすすめていきます。

横浜市長 山中竹春

暮らしがやすいまち、

よこはまし じちかいちょうないかい かつどう しえん
横浜市は自治会町内会の活動を支援しています！

① 防犯活動を応援します

防犯パトロールを行います。防犯グッズを買うことやセンサーライトを付けること、防犯講座を行うことにかかるお金

【補助率9/10(20万円まで)】

② 防犯カメラの取りつけをすすめます

自治会町内会が防犯カメラを取りつけるお金の補助を増やします。犯罪がおこりにくい安全なまちづくりを応援します。

【補助率9/10(28万円まで)】



③ 地域の工夫を応援します

環境美化(きれいにすること)活動や防災活動などへの支援のお金を増やします。もっと活発な自治会町内会活動を応援します。

【1世帯の支援額を700円から900円に増やします】

④ デジタル時代の活動を応援します

「デジタル回観板を取り入れたい」、「連絡や地域情報を受けたい」という声に応え、相談会を行うなど、自治会町内会活動のデジタル化を応援します。



▲デジタルツール(アプリやサービス)の紹介の本

防犯

「デジタル」をうまく使って顔の見える関係を

こんなとりくみをしています！

都筑区東山田4丁目町内会

みんなの不安にデジタルで、すぐに対応！“地域の目”でまちを守る

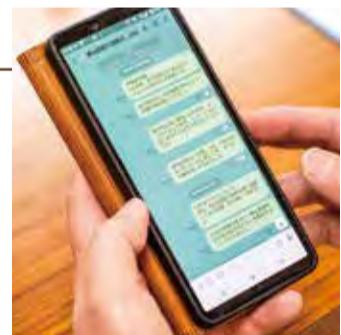
仕事が忙しい中でも参加しやすく、お互いの顔がみえる町内会活動にするため、いつもスマートフォンでの「オープンチャット」をうまく使います。役員会の事前相談や調整に使っています。

2024年、横浜で強盗事件が起ったあと、一人ぐらしのおとしよりの人たちから心配に思う意見が集まりました。チャットで話し合いをし、あまりお金をかけずに、すぐできることを考えた結果、「地域の目」となるポスターを作りました。このとりくみがほかの町内会にも広がりました。ポスターを1,000枚を貼ることで、地域全体でまちを守るという一体感(ひとつにまとまるきもち)につながっています。

さらに、防犯パトロールを月2回行ない、その結果をグーグルフォームで、すぐに町のみなさんに知らせるとりくみもしています。こども向けのイベントのもうしこみにもグーグルフォームを使ったところ、参加する人が増えました。町内会のLINEアカウントからは、地域の近くの情報報をプッシュ型でタイムリーに届けています。

▲グーグルフォームをうまく使い参加する人がたくさんあつたクリスマス会

日ごろのつながりは、「ひとりではない」という安心感をもたらします。災害が起った時や病気のときも、お互いを思いやり助け合うことができます。そうしたつながりに、「デジタルの便利さ」が加わることで、地域の問題にも、より早く対応できるようになっています。



▲町内会情報もLINEから配信



▲みんなでつかえるよう町内会館の前で、くばっています。

こんなことが
よかつた！



ヨコハマ

5 脱炭素(CO₂などの「温室効果ガス」を出さない)化を応援します

LED照明器具やエアコン、断熱窓(熱を逃がさない窓)や、太陽光発電(太陽の光を電気に変える)設備や蓄電池などの設備を買おうお金を補助して自治会町内会館の脱炭素化を支援します。

【補助率2/3(買う設備ごとにお金の上限があります)】



▲町内会館に取りつけた太陽光パネル

2024年度に太陽光発電システムをとりつけた東山田1丁目町内会(都筑区)

この設備は停電(電気がとまる)ことの影響を受けず、防災にも利用できます。地域の明かりを消さない「停電しない会館」として、地域のシンボルや脱炭素行動の代表となることを期待しています。これからは、太陽光発電で氷を作り、こどもたちにかけ氷をふるまうなどして、脱炭素について学ぶイベントなども行なっていきます。



▲笠福祉部長、光畠会長(左から)

横浜市全体の
自治会
町内会から
こんな声が
届いています

- LED化により、脱炭素化へ貢献したのはもちろん、会館の中も明るくなりました。
- 酷暑(ひどくあつい)の中、冷房の能力不足に悩んでいましたが、省エネで冷暖房能力の高いエアコンをとりつけたことで、活動するひとの健康を守り、買うお金や光熱費も減らせました。
- 自治会館が、快適な活動の中心、また災害時の避難場所にもなりました。

美化

ひと
ちきゅう
人にも地球にもやさしいまちへ

2024年度
横浜環境行動賞
「3Rまちの美化」
功労(貢献したひと)者表彰



こんなとりくみをしています!

好きなまちを「きれいにしたい」想いでつながる



▲集積所で分別状況をチェック

新しいプラスチック分別がひろまるよう、町内会では環境事業推進委員を中心に分別について教えてています。1週間交代の当番制で、集積所を見守り、掃除を行うことで、ごみを分けて捨てることが「自分のこと」になり、確実に分別が進んでいます。

400世帯もある大きな町内会なので、ひとりひとりが分別の意識をもっていただくことが大切です。ごみ出しの状況を連絡ノートや手作りポスターで共有することで、みなさんに協力いただき、いつも正しく分別されています。地道な活動ですが、「きれい」への一番の近道だと感じています。

きれいな場所にはごみをごみ箱以外の場所に捨てることがなくなっていました。とても美しいまちになっています。地域の環境を守ることが、安全で安心なくらしにもつながると感じています。

環境事業推進委員とは…

ごみ減量・再利用(リサイクル)や街の美化、脱炭素の推進を行う地域のボランティアリーダーです。

こんなことが
よかつた!



月岡さん、三嶋会長、前田さん(左から)▶

自治会町内会への加入、
支援メニューなどくわしいことはこちら



5月3日(土曜・祝日)~6月2日(月曜)は よこ はま かい こう げっ かん **横浜開港月間**

5月3日から開港記念日である6月2日までのおよそ1か月間、
臨港パークから山下公園までの港をみわたせる地域を盛り上げ
る、さまざまなイベントが行われます。ぜひ楽しんでください。

第44回 横浜開港祭

【日程】5月31日(土曜)~6月2日(月曜)

「開港を祝い、港に感謝しよう」というテーマで始まった横浜開港祭
は、港の開港を祝う市民のお祭です。2025年は3日間の開催となり、こ
どもから大人まで楽しめるイベントやプログラムが盛りだくさんです。
6月2日(月曜)の開港記念日には、市民による大合唱「ドリーム・オブ・
ハーモニー」や、光と音の演出「ビームスペクタクル in ハーバー」がイベ
ントのフィナーレを飾ります。

【会場】 臨港パーク ほか

きくとこ 横浜開港祭実行委員会事務局 TEL: 045-212-5511 FAX: 045-212-5510

パウと開港月間×横浜市

開港月間の横浜に、パウ・パトロール
がはじめてやってくる！横浜のまちをま
わってパウ・パトロールに会いに行こう！



©2025 & TM Spin Master Ltd.

パウ・パトロールがやってくる

5月 3日(土曜・祝日) 第73回 ザ よこはまパレード
5日(月曜・祝日) もとまちあんぜん あんしん 元町安全・安心パレード2025
11日(日曜) 横浜DeNAベイスターズイベント
25日(日曜) ハマフェスY166



くわしいことは
こちらから



市民による大合唱「ドリーム・オブ・ハーモニー」▲

横浜ローズウィーク2025

【日程】5月3日(土曜・祝日)~6月15日(日曜)

「花と緑あふれる街 横浜」のシンボルとして長く親しまれてきた
横浜市の花「バラ」。見頃を迎えたバラが咲き誇る横浜で、
歴史ある街並みや美しい港の風景を楽しみながら「バラの街歩き」
を楽しみませんか。

【会場】 山下公園、港の見える丘公園、山手イタリア山庭園、
横浜イングリッシュガーデン、八景島シーウォーク

きくとこ NTTハローダイヤル TEL: 050-5548-8686 (毎日あさ9時~よる20時 6月16日まで) FAX: 045-550-4093



横浜の花と緑をPRする
マスコットキャラクター
「ガーデンペア」©TOON/GN

港の見える丘公園▲

2025世界トライアスロン横浜大会

【日程】5月17日(土曜)・18日(日曜)

横浜大会は、年間チャンピオンを決定する世界最高峰の大会「ワールドトライアスロンシリーズ」の一
つです。15回目を迎える2025年も、横浜の港を舞台に熱い戦いが繰
り広げられます。象の鼻パークで同時開催される「ハマトラFES」など、
観戦だけでなく、みなさんで楽しめるイベントも盛りだくさんです。

【会場】 山下公園周辺特設会場(山下公園スタート・フィニッシュ)



Triathlon
2025 YOKOHAMA



くわしいことは
こちらから

◆2024年の大会の様子

きくとこ 世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会
TEL: 045-680-5538 FAX: 045-641-2371

横浜ナイトフラワーズ2025

【日程】5月17日(土曜) 大さん橋 5月24日(土曜) 新港ふ頭

横浜港の夜を彩る5分間の花火「横浜スパークリングトワイライ
ト」は、2025年度から「横浜ナイトフラワーズ」に名前を変更し、毎月、
横浜港の夜空に美しい花火が打ち上ります。

ちかくで開催されるイベントとともに、夜空に描かれる大輪の花を見
にきませんか。



ねんかん とお
年間を通して
開催！



6月以降の予定は、
ウェブページを
見てください。

きくとこ 横浜ナイトフラワーズ実行委員会運営事務局
TEL: 045-663-7267 FAX: 045-681-2838

ほかにも、開港月間中は楽しいイベントが盛りだくさんです。各イベントのくわしい情報はウェブページを見てください。



ほかのイベントに
ついてくわしいこと
はこちらから



みなと みどり れきし ちいき
海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。今月は、開園60周年を迎える子どもの国(青葉区ほか)についてです。

かいえん しゅうねん きねん たの 開園60周年記念の楽しいイベントが盛りだくさん!~子どもの国

くにきょうかい じょう むり じけんえんちょう あきほひさし
くにきょうかい じょう むり じけんえんちょう あきほひさし
こどもの国協会 常務理事兼園長 秋保 尚志

もっと くわしいことは こちらから
QRコード

よこはまし ほくせいぶ
横浜市北西部にある「子どもの国」を知っていますか。
丘陵地帯に広がるおよそ100haの自然公園・遊戯施設で、5月5日に開園60周年となります。1959年の皇太子殿下(いまの上皇陛下)ご結婚の時に、初めて一般家庭から皇太子妃が誕生することになり、大きな祝福の声が沸きあがりました。国民からのお祝い金が宮内庁に寄せられ、その使い道について両殿下が「子どものためになる施設を」との意向を示されたのをきっかけに、お祝い金や会社の寄付や国費(くにのおかね)などをもとに建設が始まり、1965年の子どもの目に開園しました。
昔は旧陸軍の弾薬庫などがあった場所で、戦後はアメリカ軍がつかっていましたが、子どもの国建設のときに日本に返還されました。



▲緑に映える桜と鯉のぼり

しじん い ち けい ほくじょう じ てんしゃ ゆうぐ はい ち
自然を活かした地形に牧場や、ボート、自転車などさまざまな遊具を配置し、
夏はプール、冬はアイススケートなどの遊びができる児童厚生施設として運営しています。これまでにおよそ5000万人近いひとが来ました。

2025年は、60周年特別行事として、「思い出の遊具」写真展を開催中のほか、高校生による「思い出吹奏楽」(5月)、小中学生による「ダンスフェスティバル」(6月)、「三世代大運動会」(10月)、幼ないこどもに向けたステージショー(10月)など楽しい企画を予定しています。

定期行事を含めくわしいことはウェブサイトを見てください。そして子どもの国に遊びに来てください。

くに こどもの国 ゆうりょう 有料

こうつう くにせん くにえき ある ふん ちゅうしゃじょう ゆうりょう
【交通】子どもの国線「子どもの国」駅をおりて、歩いて3分。駐車場(有料)もあります。

【休園日】水よう、水ようが祝日の場合は開園します。12月31日、1月1日



きくとこ こどもの国協会 TEL: 045-961-2111 FAX: 045-962-1366

じかん てがる よ
すきま時間に、手軽に読みやすい

こうほう 「ピックアップ! 広報よこはま」をLINEでお知らせ

5月号から横浜市LINE公式アカウントで、広報よこはまの記事を選んでお届けします。
すきま時間などに手軽にみていただけますので、この機会に友だち登録をしませんか。

がつごう はいしん
5月号から配信スタート!



LINEに
とも とうろく
友だち登録!



し こうしき
市LINE公式アカウントは
こちら

※新しく友だち登録をした
ときのつぎの月の号から配
信されます。

じゅしんせってい
受信設定から住んでる
く とうろく
区を登録すると、市内のイ
じょうほう
ベント情報やお知らせを
受け取れます。

まいつき
毎月1日に
さいしんさう し
最新号をお知らせ

LINEで届く出しを押すと、
ピックアップ! 広報よこはまの
ページに移動します。

スマホで記事が読みやすい
紙面の内容はそのままに、タイ
トルから読みたい記事を選んで、
簡単にスマホやパソコンで読む
ことができます。



ピックアップ!
広報よこはまの
画面イメージ



きくとこ 政策経営局広報・プロモーション戦略課 TEL: 045-671-2332 FAX: 045-661-2351

たの
かいてき
もっと楽しく、もっと快適に
の げ やま どう ぶつ
野毛山動物園

リニューアル
だい 第1弾

4/22
(火曜)

開園から70年以上、市民のみなさんに親しまれてきた野毛山動物園。もっと気持ちよく過ごせるよう、いま、大きくリニューアル中です。第1弾として、この4月になかよし広場や屋内休憩棟、トイレ棟が新しくなりました。

ZOO
あるから
もっと
GOODに
のげやまどうぶつえん



くわしいことは
こちらから

なかよし広場



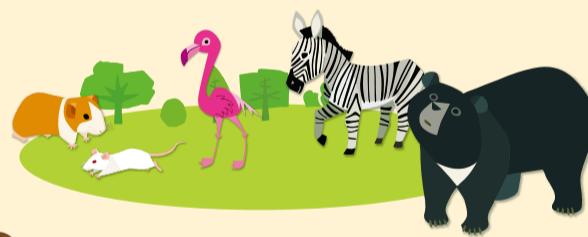
屋根を新しくつけました。天気に関係なく
動物たちとのふれあいを楽しめます。



おくないきゅうけいとう
屋内休憩棟



くうちょうとどの
空調の整った室内で、ベビーカーや車いすを
ご利用のひとでもゆったりくつろげます。



だから
なんど
何度も
い
行きたくなる
さらに
進化し続ける

これからもリニューアルを進め、動物たちをより身近に感じられるような展示ゾーンを整備します。

さらに、エレベーター・スロープの設置など、みなさんが気持ちよく移動できるバリアフリーな動物園づくりを目指します。

ふれあいパークゾーン(かりのなまえ)



▲近くで動物の動きを感じる(イメージ)

野毛山動物園から歩いて5分

の げ やまどうぶつえん
野毛山動物園



くわしいことは
こちらから



京浜急行日ノ出町駅 歩いて10分
JR・市営地下鉄桜木町駅 歩いて15分

ちゅうおうとしょかん
中央図書館

おやこフロアも同日オープン

おやこ
親子でゆったりと過ごすことのできる「お
やこフロア」が、中央図書館1階にオープン
しました。



くわしいことは
こちらから



きくところ 野毛山動物園リニューアルについて みどり環境局戦略企画課 TEL: 045-671-4768 FAX: 045-550-4093